



# おにぎり通信

2017年2月11日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座、日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

本日は建国記念日です。初代の神武天皇が、紀元前660年2月11日に即位したことから定められました。ただ、この年や日付は記録されているものではなく、日本書紀に書かれた干支を頼りに、明治政府が計算してはじき出したものです。また、日本書紀自体も書かれていることが本当かといえ、そうとも言えず、神武天皇も、実際にはいなかったとも言われています。

とは言え、大和朝廷が紀元後350年頃には日本国内を統一したのは確かであり、世界の国の中で、この頃から今と同じ形で存在し続けているのはお隣の中国やサンマリノというヨーロッパの小さな国、アフリカにあるエチオピアぐらいで、日本が世界で最も古い国のひとつであることは、間違いありません。

## ★1月30日(月) 福祉行動報告

Aさん(70代) 路上で生活をされていましたが、1月31日をもって荷物が撤去されることとなったため、生活保護申請をされました。

Bさん(60代) 身体の調子が悪く、医療受診がご希望でしたが、生活保護申請をして病院で受診をされる事になりました。

## 次回の福祉行動:2月13日(月)

東京駅丸の内南口地下に朝8時30分までに集合してください。車輪の前に「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をかけてください。病気のケガの治療を希望される方や体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」まで同行します。福祉行動は原則、毎週月曜日に行います。福祉行動は、参加される方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることで成り立ちます。

## 最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所...中央区築地 1-1-1 中央区役所4階  
千代田区福祉事務所...千代田区九段南1-2-1 3階

ぜんもんどう  
【禅問答】

「するのは駄目、しないのも駄目。するでもなく、しないでもないのも駄目。では、どうする」

「在るとは在らぬこと、在らぬとは在ることだ」

こうした一見訳の分からない話がなされるのが、禅問答です。禅問答とは、文字通り、禅宗のお坊さんが行う問答のことですが、一般には、何を言っているのか分からない議論を指し、「まるで禅問答みたいだ」という風に使われます。

仏教が重きを置いていることのひとつは、経験を通して仏の教えを得ることです。禅は、坐禅に代表されるように、仏の教えを、考えるのではなく体験を通じて得ることで、お釈迦さまの悟りと同じ境地に達しようとするものです。このように、頭で理解するのではなく、直感で体得する以外に悟りは得られないという考えに基づくことから、禅問答は分かりにくいのです。

そんな禅問答で有名なのが次のものです。

「お釈迦さまは、すべての生き物に仏性があると云われましたが、啼いている犬にも仏性があるのでしょうか」

「無」

普通に読むと、犬には仏性、つまり清く澄んだ心は「無い」ということになります。しかしそうではないのです。人でも犬でも、煩惱を取り除いて無になれば、仏と同じ心になれるという意味なのです。この禅問答の説明には、

「熱く熱した鉄の球を口に入れて口を押さえられたとする。口の中に入れておけば口が痛い。かといって、飲み込むこともできない。この難しい『無』という言葉はそれと同じである。しかし、我慢して『無、無』と念じていると、次第に心が清くなり、自分と周囲を隔てる壁がなくなり、ある日、口をきけない者が夢を見たように、自分だけが分かり、人には説明できない悟りの境地に至る」とあります。因みに、お釈迦さまは、菩提樹の下で坐禅を行い、昼夜座って瞑想をして自己を見つめ続け、49日が経った時、心に静寂を得て悟りを開いた、と云われています。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いいたします。

よつや なかま れんらくさき  
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535